

# 「赤ちゃんへの絵本贈呈事業」に関する 全国調査 2024 結果報告

87.4% が  
赤ちゃんに  
絵本を贈呈

2025.7 NPOブックスタート

NPOブックスタートでは、2020年度から、自治体における「赤ちゃんへの絵本贈呈事業」（ブックスタート事業を含む）に関する全国調査を毎年度実施しています。本報告書では2024年度の実施状況や実施方法にくわえ、各自治体の事業運営における工夫や課題についてご報告します。

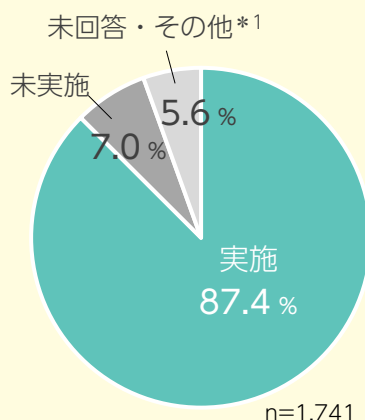
## 調査概要

- 内 容** 自治体在住の赤ちゃん（0～1歳児）全員を対象に、絵本を贈呈する事業の実施状況  
※ 読みきかせの「体験」と「絵本」をセットにして贈呈するブックスタート事業のほか、絵本贈呈のみを行う事業についても調査
- 対 象** 全国の自治体（1,741市区町村）※区は東京23特別区
- 方 法** 質問紙調査
- ① 当NPOを通じてブックスタートを実施している自治体（1,118市区町村）「実施状況確認シート」  
② ①以外の自治体（623市区町村）「赤ちゃんへの絵本贈呈事業」に関する全国調査質問票
- 時 期** 2025年2～3月
- 回収数** 1,645市区町村（94.5%）

## 結果 ① 実施状況

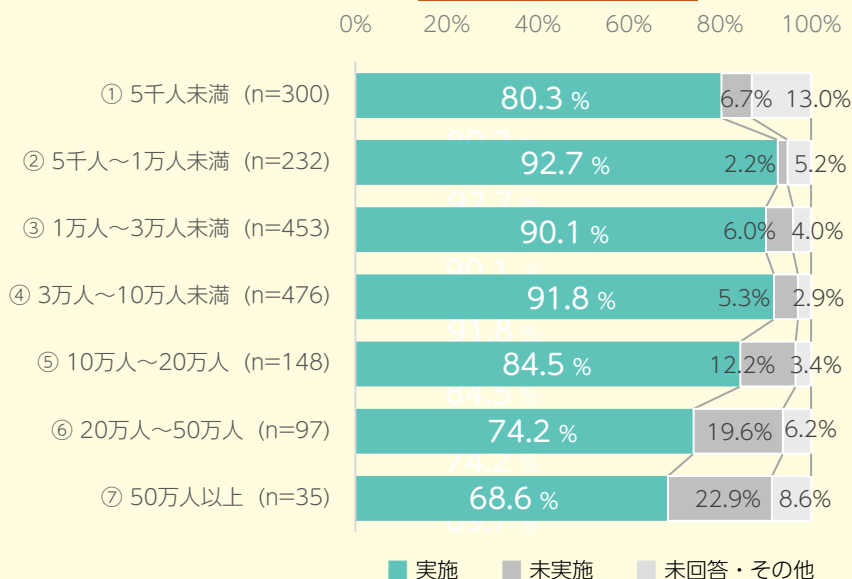
- 全国の87.4%にあたる1,522市区町村が、2024年度事業として赤ちゃんへの絵本贈呈事業を実施。（昨年度調査では、86.6%にあたる1,507市区町村が実施と回答。※回収数は1,635市区町村）
- 未実施自治体（122市区町村）のうち、20市区町村が来年度以降実施予定・検討中と回答。

全国の実施状況



\*1 回答のなかった自治体、および一部の区のみで実施している政令市。

人口規模別 実施状況



グラフ等の構成比 (%) は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

都道府県別 実施状況

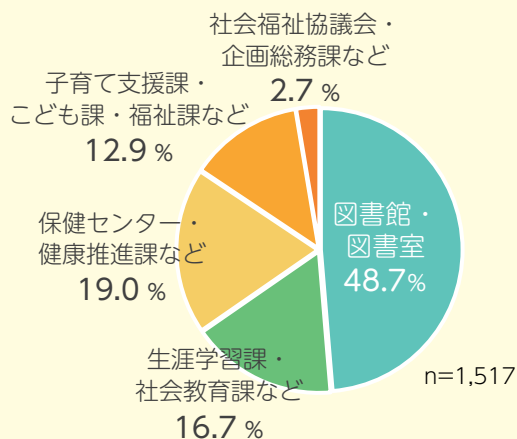
| 都道府県 | 実施           | 未実施        | 未回答・その他 <sup>*2</sup> | 全自治体数 |
|------|--------------|------------|-----------------------|-------|
| 北海道  | 165 (92.2%)  | 9 (5.0%)   | 5 (2.8%)              | 179   |
| 青森県  | 32 (80.0%)   | 5 (12.5%)  | 3 (7.5%)              | 40    |
| 岩手県  | 29 (87.9%)   | 3 (9.1%)   | 1 (3.0%)              | 33    |
| 宮城県  | 31 (88.6%)   | 2 (5.7%)   | 2 (5.7%)              | 35    |
| 秋田県  | 20 (80.0%)   | 4 (16.0%)  | 1 (4.0%)              | 25    |
| 山形県  | 33 (94.3%)   | 1 (2.9%)   | 1 (2.9%)              | 35    |
| 福島県  | 51 (86.4%)   | 4 (6.8%)   | 4 (6.8%)              | 59    |
| 茨城県  | 42 (95.5%)   | 1 (2.3%)   | 1 (2.3%)              | 44    |
| 栃木県  | 23 (92.0%)   | 2 (8.0%)   | 0 (0.0%)              | 25    |
| 群馬県  | 30 (85.7%)   | 1 (2.9%)   | 4 (11.4%)             | 35    |
| 埼玉県  | 51 (81.0%)   | 12 (19.0%) | 0 (0.0%)              | 63    |
| 千葉県  | 47 (87.0%)   | 6 (11.1%)  | 1 (1.9%)              | 54    |
| 東京都  | 45 (72.6%)   | 9 (14.5%)  | 8 (12.9%)             | 62    |
| 神奈川県 | 29 (87.9%)   | 3 (9.1%)   | 1 (3.0%)              | 33    |
| 新潟県  | 28 (93.3%)   | 2 (6.7%)   | 0 (0.0%)              | 30    |
| 富山県  | 13 (86.7%)   | 2 (13.3%)  | 0 (0.0%)              | 15    |
| 石川県  | 17 (89.5%)   | 2 (10.5%)  | 0 (0.0%)              | 19    |
| 福井県  | 17 (100.0%)  | 0 (0.0%)   | 0 (0.0%)              | 17    |
| 山梨県  | 25 (92.6%)   | 0 (0.0%)   | 2 (7.4%)              | 27    |
| 長野県  | 68 (88.3%)   | 0 (0.0%)   | 9 (11.7%)             | 77    |
| 岐阜県  | 33 (78.6%)   | 5 (11.9%)  | 4 (9.5%)              | 42    |
| 静岡県  | 34 (97.1%)   | 0 (0.0%)   | 1 (2.9%)              | 35    |
| 愛知県  | 44 (81.5%)   | 7 (13.0%)  | 3 (5.6%)              | 54    |
| 三重県  | 24 (82.8%)   | 3 (10.3%)  | 2 (6.9%)              | 29    |
| 滋賀県  | 17 (89.5%)   | 2 (10.5%)  | 0 (0.0%)              | 19    |
| 京都府  | 23 (88.5%)   | 2 (7.7%)   | 1 (3.8%)              | 26    |
| 大阪府  | 34 (79.1%)   | 7 (16.3%)  | 2 (4.7%)              | 43    |
| 兵庫県  | 35 (85.4%)   | 4 (9.8%)   | 2 (4.9%)              | 41    |
| 奈良県  | 30 (76.9%)   | 3 (7.7%)   | 6 (15.4%)             | 39    |
| 和歌山県 | 27 (90.0%)   | 1 (3.3%)   | 2 (6.7%)              | 30    |
| 鳥取県  | 19 (100.0%)  | 0 (0.0%)   | 0 (0.0%)              | 19    |
| 島根県  | 18 (94.7%)   | 0 (0.0%)   | 1 (5.3%)              | 19    |
| 岡山県  | 27 (100.0%)  | 0 (0.0%)   | 0 (0.0%)              | 27    |
| 広島県  | 18 (78.3%)   | 2 (8.7%)   | 3 (13.0%)             | 23    |
| 山口県  | 11 (57.9%)   | 6 (31.6%)  | 2 (10.5%)             | 19    |
| 徳島県  | 23 (95.8%)   | 0 (0.0%)   | 1 (4.2%)              | 24    |
| 香川県  | 17 (100.0%)  | 0 (0.0%)   | 0 (0.0%)              | 17    |
| 愛媛県  | 19 (95.0%)   | 1 (5.0%)   | 0 (0.0%)              | 20    |
| 高知県  | 32 (94.1%)   | 1 (2.9%)   | 1 (2.9%)              | 34    |
| 福岡県  | 60 (100.0%)  | 0 (0.0%)   | 0 (0.0%)              | 60    |
| 佐賀県  | 13 (65.0%)   | 4 (20.0%)  | 3 (15.0%)             | 20    |
| 長崎県  | 21 (100.0%)  | 0 (0.0%)   | 0 (0.0%)              | 21    |
| 熊本県  | 38 (84.4%)   | 3 (6.7%)   | 4 (8.9%)              | 45    |
| 大分県  | 15 (83.3%)   | 2 (11.1%)  | 1 (5.6%)              | 18    |
| 宮崎県  | 24 (92.3%)   | 0 (0.0%)   | 2 (7.7%)              | 26    |
| 鹿児島県 | 40 (93.0%)   | 0 (0.0%)   | 3 (7.0%)              | 43    |
| 沖縄県  | 30 (73.2%)   | 1 (2.4%)   | 10 (24.4%)            | 41    |
| 全国   | 1522 (87.4%) | 122 (7.0%) | 97 (5.6%)             | 1,741 |

\*2 回答のなかった自治体、および一部の区のみで実施している政令市。

## 結果 ② 実施方法

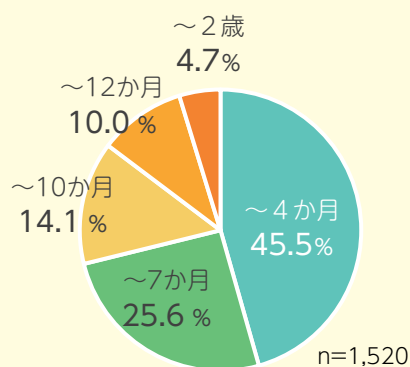
- 主管部署、対象月齢、実施機会、贈呈する絵本冊数ともに、前回調査と大きな差異は見られなかった。
- 主管部署は「図書館・図書室」および「生涯学習課・社会教育課など」が6割以上だったが、「母子保健担当課」および「子育て支援担当課」が事業を担当している自治体も3割以上あった。
- 実施機会は、母子保健関連（集団健診、健康相談・育児相談など、家庭訪問）の機会が8割以上だった。

主管部署



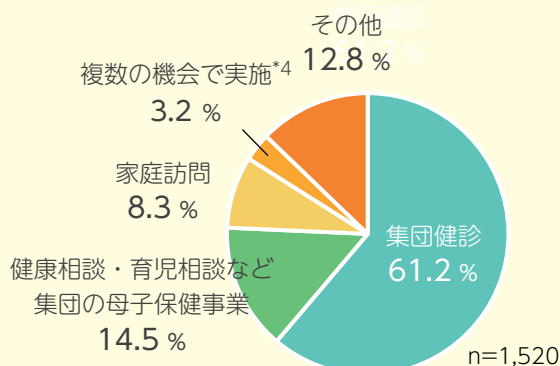
三重県・奈良県・和歌山県・香川県では、「母子保健担当課」が主管部署である割合が最も多く、全国的な状況とは異なっていた。

対象月齢<sup>\*3</sup>

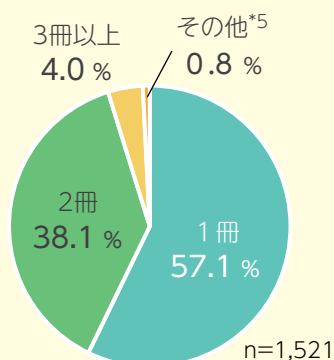


鳥取県・静岡県は「～7か月」児を対象とする割合が、それぞれ約8割、約7割と最も多く、全国的な状況と異なっていた。

実施機会



贈呈する絵本冊数



<sup>\*3</sup> 対象月齢が複数月齢にまたがる場合、上限の月齢で集計。（例）対象月齢が「4～6か月」の場合「～7か月」として集計。

<sup>\*4</sup> 図書館での機会に加え1歳6か月児集団健診で実施する場合など。

<sup>\*5</sup> 対象者によって贈呈する絵本冊数が異なる場合。

未回答は集計に含めていません。また、実施方法に関する調査項目のうち、「読みきかせ有無」については、コロナ禍の影響を受けている自治体があるため、公表結果には含めていません。

## 結果 ③ 赤ちゃんへの絵本贈呈事業における工夫

- 贈呈事業後も継続的に家庭で読みきかせの時間がもたれるよう、手渡す絵本や資料を工夫するほか、図書館・子育て支援センターなど地域とのつながりをもてるよう配慮している自治体もあった。
- 対象となるすべての親子に手渡せるよう、周知に注力したり、日本語以外を母語とする親子への対応を工夫している自治体もみられた。

自由記述回答より（抜粋）（ ）内は回答部署。＊図書館：図書館・図書室、母子保健：保健センター、健康推進課など、子育て支援：子育て支援課、こども課など、生涯学習：生涯学習課、社会教育課など

### ● 贈呈方法（含む 贈呈する絵本、一緒に配付する資料など）

- ・実際に絵本を読んでもらったときの赤ちゃんの反応に驚かれる保護者が多いので、必ず一人ひとりの赤ちゃんに向けて読みきかせを行っている。（図書館）
- ・家庭でも親子で絵本に触れ合う時間を作れるように、絵本の選び方や読み方のコツを伝えている。（子育て支援）
- ・すでに同じ絵本をお持ちの場合は、交換できるようにしている。（図書館）
- ・「親が読みたい本」や「こちらが読んでもらいたい本」ではなくて、「子どもが興味を持った本」を渡すことが重要であると考えているため、4種類の絵本の中から2冊を選んでもらうという方法をとっている。（図書館）
- ・事前に、希望する絵本を選択してもらう方法を導入。配付がスムーズになっただけでなく、選んでもらうことで保護者が絵本に対して愛着を持ってもらえるようになる。（母子保健）
- ・絵本のほかに、読んだ本やお子さんの成長を記録できるオリジナルの手帳、図書館や子育てに関する資料をオリジナルのトートバッグに入れて配付している。（生涯学習）
- ・絵本と一緒に、図書館利用カード申請書やおすすめの絵本リストもバッグに入れて渡し、図書館の利用を促し、継続的な絵本の利用を図っている。（図書館）
- ・子育て支援センターや図書館の情報等をお知らせして、利用を促進している。（子育て支援）
- ・贈呈事業の会場で、赤ちゃん絵本貸出サービスを開始した。（生涯学習）
- ・町内の書店で2千円分までの絵本を1冊購入できる券を同封している。（生涯学習）

### ● 日本語以外を母語とする対象者への対応

- ・フィリピンの方がいたので、タガログ語の資料＊を手渡したら涙ぐんだようにして喜んでいた。（子育て支援）
- ・外国語の絵本＊を手渡したところ、好評だった。（母子保健）

＊当NPO発行の多言語版 アドバイスブックレット、および2023年度試験実施を行った多言語対応絵本（日本語の絵本に5言語併記の翻訳シールを貼付）。

詳しくは、当NPOウェブサイト（読みもの #多言語）をご参照ください。

## ● 市民ボランティア等との連携／育成

- ・子ども読書推進サポーター（有償ボランティア）と一緒に、絵本の説明をしながら配付している。（図書館）
- ・ボランティア増員のための養成講座や、スキルアップ講座を開催している。（図書館）
- ・各地区の民生・児童委員が訪問で絵本の配付を行うことで、地域とのつながりを深めている。（子育て支援）
- ・事業での読みきかせは、役場OB（元幼稚園長）にお願いしている。（子育て支援）

## ● 事業運営／体制づくり

- ・（贈呈時の）読みきかせの様子を記録し、今後の活動に活かしている。（図書館）
- ・事業当日は、開始前に打ち合わせを、終了後に反省会を実施している。（生涯学習）
- ・市（子ども家庭課・生涯学習課・子育て支援センター）とボランティアグループ代表、図書館（指定管理者）の代表が2か月に1度集まり、事業をより良くするための検討委員会を設けている。（図書館）
- ・子育て支援センター保育士だけでなく、図書館司書、保育施設保育士にもスタッフとして協力してもらい、市内各施設で連携して行っている。（子育て支援）

## ● 事業の周知

- ・保健センター、市内医療機関(産婦人科・小児科)、子育て施設などにチラシ・ポスターを設置。（図書館）
- ・市のYouTubeでPR動画を配信している。（図書館）
- ・市広報誌に事業の特集記事を掲載した。（図書館）
- ・保健部署と連携し、助産師や保健師が「こんにちは赤ちゃん訪問事業」で戸別訪問を行う際に、事業の意義や読みきかせの大切さについて伝えている。（図書館）
- ・図書館内のベビースペースに、紹介コーナーを設置している。（生涯学習）
- ・未参加の対象者へお知らせハガキを送付している。（図書館）

## ● 事業評価

- ・1年後の健診時に、家庭での読みきかせの定着状況をアンケート調査して事業効果を検証。（図書館）
- ・（家庭訪問時に実施した贈呈事業について）4か児健診時にアンケートを行い、事業評価に活用している。（母子保健）

## 結果 ④ 赤ちゃんへの絵本贈呈事業における課題

- 課題について言及している自治体は多くなかったが、課題として最も多くあげられていたのは、人材（ボランティア）で、ついで予算だった。
- コロナ禍の影響により、従来実施していた贈呈時の読みきかせが再開できないことを課題としてあげている自治体も一部見られた。

自由記述回答より（抜粋）（ ）内は回答部署。＊図書館：図書館・図書室、母子保健：保健センター、健康推進課など、子育て支援：子育て支援課、こども課など、生涯学習：生涯学習課、社会教育課など

### ● 贈呈方法（含む 贈呈する絵本）

- ・ コロナ流行前は、健診会場で読みきかせを行い絵本を配付していたが、コロナ禍になり従来の方法での実施ができない状況となった。乳幼児のウイルス等の感染については慎重にならざるを得ず、5類移行後も健診会場で読みきかせは実施できていない。（生涯学習）
- ・ 読みきかせの場を健診会場で設けたいが、場所や健診時間の調整が課題である。（母子保健）
- ・ プレゼントをする絵本の選定について、「司書が赤ちゃんに読んでほしい絵本」と「保護者がほしいと思える絵本」の折り合いの付けどころが課題。（図書館）

### ● 日本語以外を母語とする対象者への対応

- ・ 日本語が分からない保護者へのサービス周知方法や、提供する絵本の選定等が課題。本人やきょうだいが通っている幼稚園・保育園と連携する必要がある。（図書館）

### ● 未参加者への対応

- ・ 健診の未受診者に対して絵本のプレゼントができていない。（子育て支援）
- ・ （地域包括支援センターに來所いただく形で事業を実施）対象者全員に通知を送っているものの、実際に事業を利用されているのは7割程度にとどまっており、利用率を向上させることが今後の課題。（社会福祉協議会）

### ● 市民ボランティア等との連携／育成

- ・ 読みきかせボランティアの人材確保に苦慮している。（生涯学習）
- ・ ボランティアの高齢化が進み退会者も出るため、人員が不足する実施会場もある。（子育て支援）
- ・ ボランティアの確保と、やりがい・モチベーションの継続が課題。（母子保健）

### ● 予算

- ・ 予算の確保が難しい。（図書館）
- ・ 本の価格が値上がりし、予算内におさめるには選べる絵本が限定されてしまう。（生涯学習）

### ● その他

- ・ 絵本の在庫管理。（図書館）



- 贈呈事業以外に取り組んでいる「赤ちゃん絵本」に関する事業についてもヒアリングしたところ、図書館だけでなく、保健センター、子育て支援センター、商業施設などさまざまな場所で、乳幼児対象の読みきかせを行ったり、絵本にふれられる環境づくりを行っている自治体があった。

自由記述回答より（抜粋）（ ）内は回答部署。＊図書館：図書館・図書室、母子保健：保健センター、健康推進課など、子育て支援：子育て支援課、こども課など、生涯学習：生涯学習課、社会教育課など

### ● 図書館で

- ・ 赤ちゃん向けの絵本5冊をセットにして貸し出している。（図書館）
- ・ 図書館で週1回「赤ちゃんタイム」（赤ちゃん利用を優先する時間）を実施している。（図書館）
- ・ 月1回、おはなし広場を開催。ボランティアによる絵本や紙芝居の読みきかせを行っている。当日の参加者からのリクエストにも応じ、回を追うごとに参加者も増えてきている。（図書館）
- ・ 図書館でのおはなし会で、保健師・保育士による相談等を年1回実施。（図書館）
- ・ 親子向けおはなし会を市内全図書館で実施。絵本やわらべうたを楽しむだけでなく、保護者からの絵本選びなどの相談に司書やボランティアが対応している。参加するお子さんに名札を着用してもらい、参加者同士が交流しやすい環境づくりをしている。（図書館）
- ・ 妊婦、父母、祖父母向けの絵本講座を実施。（図書館）
- ・ どんな絵本を選ぶか迷っている家族のために、月2回、絵本選び相談会も開催している。（図書館）

### ● 保健センターで

- ・ 乳幼児健診で、母子保健推進員による絵本の貸出などを行い、絵本とふれる機会を作っている。（母子保健）
- ・ 3～4か月健診時に、おはなしボランティアと協働して、赤ちゃんの図書館利用カード登録案内、赤ちゃん絵本の紹介、および読みきかせを行っている。（図書館）
- ・ 年齢（月齢）に合わせた読みきかせの啓発チラシを作成し、乳幼児健診の来所者に配付している。（生涯学習）
- ・ 3～5か月という早期の段階で贈呈事業を行っているため、第1子の保護者は育児や生活の中で余裕がなく、普段の読みきかせにつながらないケースがある。そのため、1歳児の健康相談時も読書普及活動の一環として、育児の中で楽しく絵本を活用していただけるよう、図書館の本を持ち出し、相談スペースを設けている。（図書館）

### ● 子育て支援センター・保育園で

- ・ 子育て支援センターで、月1回「出前おはなし会」を実施。（生涯学習）
- ・ 0歳児ママ講座にて、年1回「絵本について」（読みきかせ、選び方）をテーマにした回を実施している。（子育て支援）

- 保育園と共催し、3～7か月の子どもと母親を対象に、絵本の選び方や読みきかせ方を伝える講座を開催している。(図書館)
- これから生まれるわが子のために、母親が手づくり絵本を作る教室を子育て支援センターで実施。(図書館)

## ● 上記以外の場所で

- 商業施設でおはなし会を実施。(生涯学習)
- 乳幼児期家庭教育事業において、絵本専門士を講師に招き、絵本や絵本の読みきかせが子育てにもたらす効果を学ぶ講座を実施した。講座の実施にあたっては、小さな子どもづれの保護者も安心して参加できるよう、託児ボランティアに協力を依頼した。(生涯学習)
- 子どもも大人も一緒に楽しめる「絵本コンサート」を開催している。(生涯学習)

## ● その他取り組み

- 母子手帳交付時に絵本リスト、図書館の利用案内、カードと読書通帳の申込書を渡し、1歳までに図書カードを登録された場合に、読書通帳と図書館バッグをプレゼントしている。(図書館)
- 保健師等が子どもが生まれた家庭を訪問する際、乳幼児向けの良書を紹介した冊子を家族へ手渡し、読みきかせの大切さを伝えている。また、冊子に掲載している絵本を子育て支援センターや保育園等に設置し、本に親しむ環境の整備に取り組んでいる。(図書館)
- セカンドブック事業として、3歳児健診時に絵本を配付している。(生涯学習)

事業を実施している自治体は、当NPOウェブサイト（ブックスタートとは → 全国の実施状況）をご覧ください。